

名画に見る

妖精物語

25

妖精妖怪アートサロン
「イルミタイ」
代表 亀井澄夫

なんか変だよ浦島太郎！

【お問合せ】イルミタイ
06-6649-2510

19世紀から20世紀にかけてヨーロッパの画家たちは浮世絵など、日本画に大きな影響を受けました。ゴッホが広重の絵を模写したり、モネが着物やうちわを描いたり、彼等は訪れたこ

とのない、日本という東方の楽園への憧れを作品化したのです。

その中に妖精を好んで描いたウォーリック・ゴードルやエドマン・ドデュラックもいます。でも、このデュラックの世界昔話シリーズの

「エドモンド・デュラックのフェアリーブック」
1902年版より『浦島太郎』



『フェアリー・テイル』レベル刊より

中の浦島太郎、特に乙姫様がなんか変！中国風の着物と髪飾りに違和感を覚えます。きつと日本の情報が乏しくて、中国と日本の違いが、よくわからなかったのでしょうね。